

平成19年10月	総務省採用 統計局統計調査部経済基本構造統計課指導係 併任 統計局統計調査部経済基本構造統計課 情報管理係
平成21年10月	大臣官房政策評価広報課広報室
平成23年10月	統計局統計調査部消費統計課物価統計室 小売物価調査係
平成24年 4月	統計局統計調査部消費統計課物価統計室 企画指導第一係
平成26年 1月	統計局統計調査部国勢統計課審査発表係
平成26年 7月	統計局統計調査部国勢統計課指導係
平成26年10月	現職

統計局統計調査部
国勢統計課統計専門職

大八木 聡

平成19年入省

私たちの
生活を支える
統計の底力

🔊 日本の「今」を描く統計

皆さんは、「国勢調査」をご存知ですか？国勢調査とは、5年に1度、総務省統計局が日本全国に住んでいるすべての人と世帯を対象に実施する国の最も重要な統計調査で、直近では平成27年10月に実施されました。調査から得られる様々な情報は、国や地方公共団体を始め、民間企業や研究機関において幅広く利用されるだけでなく、平成28年2月に公表された速報結果では日本の人口が1億2711万人と、大正9年の調査開始以来、初めての人口減少になるなど、日本の「今」の姿を明らかにする一躍も担っています。

統計データを得るためには、必ず「調査」を実施する必要があります。私は、その調査の企画・立案や、全国47都道府県との調整事務に携わり、現在は次回の国勢調査に向けて調査員や地方公共団体の意見の取りまとめ、評価を行っています。より精度の高い統計データを得るための「調査」を探求する毎日です。

🔊 統計を縁の下から大舞台へ

国や地方公共団体などが施策を講じる際に、その基盤となるのが統計データです。例えば、子育て世代が多い地域に、率先して高齢者向けの施策を講ずるより、まずは子育て世代向けの施策を優先する方が効果的です。では、どの地域に子育て世代向けの施策を講ずべきか、その判断の道しるべとなるのが統計データです。すなわち、統計データなくして、効果的な施策の企画・立案は困難といえます。

統計は「縁の下の力持ち」などと呼ばれることがありますが、近年、“ビッグデータ”や“統計学”といった言葉を新聞やネットニュースで目にする機会が増えており、統計への関心の高まりを感じています。今後、更なる注目の中で、統計の重要性を多くの方々を知っていただき、より身近に感じていただく、これが私たちの生活に有意義な影響を与えることと確信しています。統計を、縁の下から大舞台へ。それを成せるのが総務省統計局です。皆さんも一緒に働いてみませんか？



Private Time

趣味はアコースティックギター。だったはずですが、最近では娘と一緒に遊ぶことが一番の趣味になっています。仕事でどんなに疲れて帰っても、娘の寝顔を見るだけで、明日も仕事頑張るぞ！という気持ちになります。本当に宝物です。



● 月曜日

都道府県職員からの照会対応。各種提出書類の確認を実施。

● 火曜日

統計局主催の会議資料の整理・取りまとめを実施。

● 水曜日

会議資料の印刷、会場設定。場合によっては夜中まで準備します。

● 木曜日

会議一日目。都道府県職員等に対し調査結果を説明。夜は懇親会へ。

● 金曜日

会議二日目。調査結果の活用方法を説明。夜は同僚と打ち上げです。